


1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる」









項目	前回（2年4月判断）	今回（2年7月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、足下で急速に下押しされており、厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる	

(注) 2年7月判断は、前回4月判断以降、足下（7月末）の状況までを含めた期間で判断している。

(判断の要点)

個人消費は、百貨店販売やコンビニエンスストア販売が低調であるなど、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、足下では持ち直しの動きがみられる。生産活動は、輸送機械が減少しているなど、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では一部に下げ止まりの動きがみられる。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。

【各項目の判断】

項目	前回（2年4月判断）	今回（2年7月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、足下、弱い動きとなっている	新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、足下では持ち直しの動きがみられる	
生産活動	弱まっている	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では一部に下げ止まりの動きがみられる	
雇用情勢	改善してきたが、足下、新型コロナウイルス感染症の影響がみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる	
設備投資	元年度は前年度を上回る見込み	2年度は前年度を上回る見込み	
企業収益	元年度は減益見込み	2年度は減益見込み	
企業の景況感	「下降」超幅は拡大	「下降」超幅は拡大	
住宅建設	前年を下回る	前年を下回る	
輸出	前年を下回る	前年を下回る	

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、新型コロナウイルス感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、足下では持ち直しの動きがみられる」

ドラッグストア販売は食料品などが、ホームセンター販売はDIY用具・素材などが好調であり、前年を上回っている。百貨店販売は衣料品などが、コンビニエンスストア販売は食料品などが低調であり、前年を下回っているものの、足下では来店客数が戻ってきており持ち直しつつある。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車いずれも低調であり、前年を下回っている。これらのことなどから、個人消費は、全体では、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、足下では持ち直しの動きがみられる。

（主なヒアリング結果）

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、マスクを購入する目的で来店客数が増加し、食料品や衛生用品などが好調に推移している。（ドラッグストア）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、住宅外回りの改修や感染予防対策などを目的とした来店客数が増加したため、木材や塗料、衛生用品などが好調に推移した。（ホームセンター）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、休業などから来店客数が減少したため、春物衣料品など全般的に不調となった。足下では、緊急事態宣言解除以降から来店客数が徐々に戻ってきており、持ち直しつつある。（百貨店）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、観光地周辺の店舗などで来店客数が減少し、食料品など全般的に低調となった。足下では、来店客数は戻っており、回復している。（コンビニエンスストア）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛の動きから、3～4月は来店客数が減少し、全般的に低調となった。足下では、来店客数は回復しているほか、特別定額給付金の効果などもあり購買意欲も高く、白物家電などが好調に推移している。（家電量販店）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛の動きから来店客数が減少し、受注も減少した。足下では、緊急事態宣言解除以降から来店客数は少しずつ戻ってきており、新型車効果もあり受注は増加している。（自動車販売）

■ 生産活動 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では一部に下げ止まりの動きがみられる」

輸送機械、汎用・生産用・業務用機械は、海外需要を中心に弱い動きがみられることから減少しているほか、鉄鋼は、自動車向けなどの需要に弱い動きがみられることから減少しているなど、多くの業種で新型コロナウイルス感染症の影響がみられる。こうしたなか、足下では、輸送機械が一部の需要に伴い増加しているなど、下げ止まりの動きがみられる。このように、生産活動は、全体では、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では一部に下げ止まりの動きがみられる。

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、海外市場で販売が停滞したことなどから、3月下旬から生産調整を行っている。足下では、一部で需要が回復していることなどから、生産台数を増やしている。（自動車）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、海外向けに需要が減少したことなどから、生産調整を行っていた。足下では、需要が回復しつつあることから、生産台数を増やしている。（生産用機械）
- 米中貿易摩擦などの世界経済の減速により鋼材需要が落ち込んでいるところに、新型コロナウイルス感染症の影響が加わり、さらに鋼材需要が減少している。自動車向けに加え、造船向け、建材向けなど、製造業全般で需要が減少していることから、生産量が減少している。（鉄鋼）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外で自動車向け樹脂原料などの需要が減少していることから、生産量が減少している。（化学）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外で車載向け電子部品などの受注が減少していることから、生産量が減少している。（電気機械）

■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる」

有効求人倍率はこのところ低下しているほか、新規求人数も減少するなど、雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、来店客数が減少し、業務量が減ったため、これまで出していたパートの求人募集を取り下げた。（小売）
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、先行きの見通しが立たないため、新卒を採用しないこととした。（小売）
- 全体的に生産量がやや減少しているため、人手不足感はなくなっている。（プラスチック製品）
- 雇用調整助成金を活用して、雇用を維持している。（鉄鋼）

■ **設備投資** 「2年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年4~6月期

- 製造業では、「情報通信機械」、「化学」などで減少するものの、「石油・石炭」、「その他製造」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業では、「小売」、「運輸・郵便」などで減少するものの、「金融・保険」、「不動産」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

- 定期修理を行う。(石油・石炭)
- 営業店の建替えを行う。(金融・保険)

■ **企業収益** 「2年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年4~6月期

- 製造業では、「鉄鋼」、「その他製造」などで増益となるものの、「化学」、「生産用機械」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)では、「小売」、「建設」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

■ **企業の景況感** 「『下降』超幅は拡大」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年4~6月期

- 企業の景況判断BSIは、「下降」超幅が拡大している。なお、先行きは「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。

■ **住宅建設** 「前年を下回る」

- 新設住宅着工戸数でみると、持家、貸家などが減少していることから、前年を下回っている。

■ **輸出** 「前年を下回る」

- 管内通関実績(円ベース)でみると、輸出は、自動車、石油製品などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、北米、西欧などで減少している。

なお、輸入は、原油及び粗油、石炭などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、中東、アジアなどで減少している。

3. 各県の総括判断

	前回(2年4月判断)	今回(2年7月判断)	前回比較	総括判断の要点
鳥取県	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、足下で下押しされており、厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる		個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、足下では持ち直しの動きがみられる。生産活動は弱い動きとなっている。雇用情勢は新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。
島根県	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、足下で下押しされており、厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる		生産活動は弱含んでおり、雇用情勢は改善が続いてきたが、感染症の影響がみられる。一方、個人消費は感染症の影響が残るものの、足下では下げ止まりの動きがみられる。
岡山県	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、足下で急速に下押しされており、厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる		個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、足下では下げ止まりの動きがみられる。生産活動は、足下では一部に下げ止まりに向けた動きがみられるものの、弱い動きとなっている。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられ、弱含んでいる。
広島県	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、足下で急速に下押しされており、厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる		個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、足下では持ち直しの動きがみられる。生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では一部に下げ止まりの動きがみられる。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。
山口県	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制され、足下で下押しされており、厳しい状況にある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる		個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では持ち直しの動きがみられる。生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では下げ止まりつつある。雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きがみられる。